

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	具体的に介護目標を検討し、実践・評価することで、より介護理念の新党が図れることを期待したい。	介護理念の意識づけのため、具体的な介護目標を定め入所者様から評価していただく	①介護支援時の禁句(待って！だめ！がんばって！など)や対応(行動の制限)を1ヵ月ごとに禁止項目として掲げ評価・見直しを行う。 ②入所者や職員が笑顔になってしまったことを、「ニヤリ・にっこり報告書」として報告書を作成していく。	3ヵ月
2	33	方針については書面等で明文化し、入居時に説明し、共有することでグループホームの今後の取り組みがスムーズに行えることに期待したい。また、本人の意向も確認しつつ、家族や職員、関係者が連携を図り、適切な看取りの対応の取り組みを望みたい。	契約書類やマニュアルを作成し全職員の総理解を深める	看取り介護についての指針説明など契約時の書類整備。 本人や家族からの十分な理解と意向確認、関係機関との連携など明確化するためのマニュアル作成。 看取り介護について勉強会や研修を実施し全職員が対応していけるよう体制を整える。	3ヵ月
3	35	浸水が予測される地域でもあり、近隣い災害時の協力を依頼し、協力員等の名簿作成等により、これまで以上に、確実な協力関係の構築を期待したい。	これまで以上の近隣住民との関係構築を図る	協力員の名簿作成など、マニュアルの見直しを行う。更に協力員の増員のため近隣の大只越町内会へも協力を仰ぐ。	3ヵ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。